

収入未済額（滞納額）50万円以上の市税滞納者は294人、2億7067万1540円。国民健康保険税は320人、3億2201万5950円である。収納率向上のための抜本的対策が求められるところである。

◎平成24年度4月1日付で採用した職員は9人。職員数は247人であった。新規採用職員の早期離職が平成23、24年度に続いて発生しており、今後はより慎重な採用検討が望まれる。

◎広報活動は、回覧や広報しもだメール配信サービス等により市政を分かり易くする取り組みが行われている。今後の課題としてはホームページの充実が望まれる。

◎市議会議長を団長とした中学生を含む10名の訪問団により第29回二ニュート黒船祭に出席し、日米の友好親善を深めた。また日露友好事業としてクロンシュタット広場命名式が執り行われた。

◎平成24年度における契約に係る指名競争入札等に参加する業者選定のための選考委員会の開催数は11回で、審査件数は120件であった。また入札制度の改革は、入札の透

明性確保や市場競争原理の発揚とともに入札参加業者の拡大を図るため電子入札を導入しており平成24年度は61件実施。

◎平成23年3月11日の東日本大震災、また内閣府の中央防災会議での南海トラフ巨大地震に関する津波高、浸水域、被害想定公表を受け、平成24年度も地域防災対策費に重点が置かれた。主な施策は、災害用備蓄品201万1800円、海拔表示看板設置業務47万6658円、災害用避難施設整備事業150万円、避難地（下田幼稚園）防災対策事業設計業務委託430万5000円、自主防災会活性化事業300万円。

◎地球温暖化の急速な進行などで気象状況が大きく変わり、台風や大雨被害も増大している。地震・津波対策だけでなく、総合的な自然災害対策の充実が求められる。

◎18歳以上の身体障害者に対する身体そのものの機能障害を除去、または軽減させるために必要な自立支援医療（更生医療）の給付を行った。平成23年度には46件公費負担額814万5681円であったものが、平成24年度では73件

公費負担額1734万5747円と金額では2倍以上となっている。

◎高齢者（65歳以上）の人口は、市民2万4230人のうち8550人と率にして35・3%となっている。これは県平均24・9%よりも10ポイント以上高く、市民3人に1人が高齢者ということになる。きめ細かな高齢者対策と共に子育て・若者定住化対策等が重要になっている。

◎児童手当（子ども手当を含む）に3億1154万円、児童扶養手当に9129万3700円、子ども医療費の助成に4905万1895円が支給された。

◎母子家庭の医療費の助成は、149世帯（375人）に591万2453円が支給された。

◎生活保護等の相談件数は101件。そのうち保護申請件数は71件である。保護開始件数は67世帯78人、廃止件数は18世帯25人。

◎生活保護開始要因は、手持ち金の減少32件、世帯主・世帯員の傷病17件、失業7件、仕送りの減少4件、稼働者との離別3件、その他4件。◎生活保護廃止要因は、死亡

9件、稼働収入の増4件、傷病の治癒1件、社会保障給付金の増1件、転出1件、その他2件である。なお生活保護扶助費は5億5627万8535円である。

◎ごみ処理事業における収集業では、一般指定袋収集4884トン、一般及び業者持込み5251トン、リサイクル収集825トン、計1万960トンの収集がなされた。

◎年々収集可燃ごみの量が減り、最終処理委託も減少している。リサイクル等の市民意識の定着、高まりを感じられる。また平成24年度から指定袋可燃ごみ収集の民間委託（約半数量2465トン）が開始された。収集業務や有価物処理に当たっては、より公正・

公平な発注が望まれる。

◎大沢地区産業廃棄物監視委員会とは委員会を7回・監視業務を25回実施。産業廃棄者に対して県の指導強化を市として求められた。

◎農業従事者の高齢化、後継者不足等の課題解消に向け、新規就農対策による「青年就農給付金」を活用して新規就農者支援を行った。

◎国県の補助事業を活用し、木材流通施設の整備を支援、

間伐材等の活用利用促進が図られた。また市営分収林整備事業では、間伐面積約15ha、38年生ヒノキ315³m³の搬出、森林作業道1500mの整備を641万円の事業で行った。市管理の赤線、里山の整備にも活かし、災害避難路や森林の公益機能の充実を図るうえでも、計画的、一体的な施策が望まれる。

◎市の商工業活性化に向けた各団体による様々な事業が展開され、平成24年7月から平成25年6月末までの一年間で1988万円（平成24年度決算は1491万円）の100%国県補助金による失業者新規雇用を利用したイベント・事業の支援を行った。

◎道路維持事業については、市道700路線延長233・498kmの管理を実施した。舗装・照明施設・側溝修繕等のため市道平滑中島線他37件を4500万円で維持工事を施工。また市道伊勢町脇ノ田線他61件を372万4000円

で修繕し、市道敷根1号線他17件の材料支給費として94万9000円を支出。

◎今後老朽化が懸念される下田市管理の道路橋は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき寝姿